

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉だけ伝えるだけではなく、管理者が実践する OJT 形式で共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスにより地域との交流を控えている状況	コロナ禍でも、感染対策をしながら、地域との交流会をしたことは評価できる。 今後に期待できる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面開催により、委員の皆様からご意見をいただいている	職員のストレスケアの手法や季節行事のアイデアなどホームの活動に活かせることができた。 今後、対面開催をすることでより意見を募ることができる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	区役所に相談し、行政手続きの助言など頂いている。 運営の不明点は都度介護保険課に問い合わせている。	今後も継続して連携をとるようにしてほしい		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	転落を恐れ入居者本人から四点柵を希望する事案はあったがそれ以外はない。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居間は拘束対応となる入居者はいないが、今後出てくる可能性はある。研修を定期的に行い、意識を高く持ってほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修と居室、居間に監視モニターがあることで未然に予防している。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待は職員のストレスから発生することが多い。ストレスを緩和できるよう、休息機会を本人任せにせずとるように運営しないといけない。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の中に後見人をつけた方もおり、権利擁護制度は身近なものとなっている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	円では毎月の清算を現金払いとしている。その際、ご家族と対面し職員と情報・意見交換をする。		<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出、外泊の要望には応えられていない。コロナ情勢をみながら検討していく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は毎日、その日の全職員と顔を合わせ、コミュニケーションをとっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・残業はゼロである。 ・勤務時間もスタッフの希望に応じて変則シフトをしいている。 ・また、従業員のホーム運営や仕事の疑問を書き込む連絡ノートの作成。管理者は基本毎日、全従業員と対面しコミュニケーションをとっている。		<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ストレスケアの為、オンオフの切り替えが重要。休憩は、現場から気持ちが離れるように調整する。ストレスは積み重なることでトラウマになる。人間、何でもなし合えば分かり合えるというわけでもない。一人で自由な時間が必要な時もある。効果的な休憩の取り方も、管理者が指導する必要がある。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人出の問題から研修機会は必要最低限だが働きながら話し合い、技術やメンタルの向上に努めている。外国人スタッフについては直接指導と資料をひらがな表記にするなど工夫している。		<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人スタッフに対して、無料の翻訳アプリを活用してみようか。業務内容だけでなく、励ましやねぎらいをその国の言葉でかけるとより安心して意欲向上につながると思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍での事業参入の影響もあり同業者との交流はほぼない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者にストレスを与えないよう、所作はゆっくり、笑顔で、共感を大事にするよう実践している。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により分断された感は否めない。しかし妄想などから実現できない関係を求められることも多々あり、ケースバイケースと考えている。	居室に家族や昔のご自身の写真を飾ることで、スタッフの利用者に対する見方が「利用者」から歴史ある一人の人間として見られるようになることもある。		
----	------------------	---	--	---	--	--	--

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の考えや希望は把握できていると考えるが、実現困難なことも多い。可能なことは家族と相談し実施できている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別のオリジナリティあふれるプランに向けてアセスメントを深める必要がある	外国人スタッフも主体的に実施できるプランに配慮している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プランも全スタッフが納得且つ実施可能なプランにしないとは意味がないので、意見やアイデアを吸い上げる関係づくりが大切
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間の入居者個別記録、職員間の連絡ノートを作成し出勤時に必ず閲覧しタイムリーな情報共有をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の負担を軽減するために通院は職員が可能な限り行っている。また月2回の訪問診療、適時の訪問看護で重症化対応をとっている。	介護保険外の独自サービスの広がりに期待。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナにより、外出や家族以外の地域交流の機会があまりない為	毎月、必ず家族と面会していることは評価できる		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療で連携を取っている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入退院時は往診医の指示を仰いでいる。 ・誤嚥時の緊急訪問看護や退院時の特別訪問看護を適時受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。		・コロナ入院の際は家族、病院と退院後の体制について連絡を密にとった。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・症状の変化や気になる言動などは逐一ご家族に報告している。その上でハード、環境面での対応、スタッフの関わり方での対応がどこまでできるか説明している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り、重症化対応について指針の随時更新をお願い致します。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の職員は訓練を受けているが、外国人従業員、介護をはじめたばかりの職員はまずは、連絡、相談をすることとしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・年2回の避難訓練を実施している	・緊急時の連絡が滞りなくとれるように、職員の周知が必要。立地的に水害の不安は少なく、火事、地震の防災を注意してほしい	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・否定せず、話を充分にきくことを徹底している。必要に応じて言葉かけマニュアルを作成している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレが各居室にあることが良い スタッフが心にゆとりをもって関わられるようにしてほしい
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出のニーズには職員数が足りなくその都度には応えられないが、毎日1回は散歩をしている。 入浴は二日おきまたは1日おきに全員実施している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事はスタッフが用意しているが、月数回にお好みや焼きそばなど皆で囲んで調理レクを行っている。 ・お皿洗い、拭きは入居者で分担して行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理が好きな入居者がいた場合の対応経験がない。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・検査値を参考に栄養状態を把握し、家族、医師と相談しながら個々に支援を行っている。栄養補助剤の活用、脱水リスクのある利用者に電解質溶液の提供。 ペットボトル飲料を居室におくなど。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・すぐ近くの河合歯科に通って処置している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携している歯科は必要時に往診もしてもらえる
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日、屋外散歩または室内歩行をして腸運動を促し、水分は最低でも1,000~1,500摂取できるようにしている。各居室にトイレがある為、皆さん自己にて行かれており、必要に応じて介助している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立に向けては、個室トイレが何よりも良い環境といえる。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「夕方がいい」「明日がいい」など希望にお応えしているが、現在は中2日で皆さん満足されている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	車通りも少なく静かな住環境である。日中の休息は充分に取れている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に便秘薬については都度医師。スタッフと調整している。 外国人スタッフについては理解の不足は否めない		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬がないようチェック体制を徹底を。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の馴染みの作業として、手芸、折り紙、お手玉など。また、お寿司などの好きな食べ物を取り寄せたり、好みの映像をネット配信で干渉したりしている。	・高齢や認知症により何事も一人で実施することが難しくなっている。職員が一人ひとりにつきっきりで支援することは困難なので工夫が必要。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日、近隣公園へ散歩をしている	・四季が感じられる公園が隣接し、環境に恵まれている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金品貴重品の持ち込みは原則禁止している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時、固定電話でつないでいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	桜、七夕、花火、秋桜、紅葉、クリスマス、季節に応じた壁面飾りを入居者と作成している。またお正月は参拝用の鳥居を作成した。 ルームサイクルは各々自由に活用されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレが各居室にあり、自立を促せる。窓から公園、桜がのぞめ季節を感じることができるなど居心地はよい。 現状に満足せず、よりよい環境づくりを目指してほしい。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症に伴い、帰宅願望が強い入居者もみえる。そうでない入居者はおおむね満足していただいている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所にあたり家族からご本人のこれまでの暮らしについて情報を可能な限り取り入れ支援に活かしている。ご本人の希望する友人との交流なども主に電話で実施している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療に加え入所前からの馴染みの医療機関との関係も継続支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出については制限がどうしても出てしまうが、建物内に関してご自身のペースで過ごして頂いている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族写真、好きな読書本、勉強道具、レクリエーションで作ったものなど		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防の為、イベントなどの参加は控えて頂いている。近隣公園への散歩は毎日行っている。職員が一人しかいないなど時間によって応えられない時もある	隣接する公園に毎日散歩に行けていることは評価できる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や手作業など楽しみは実践できていると思うが、家事などの役割は課題である。お皿洗い拭き、洗濯干し、たたみは日課として行っている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小規模のメリットとして職員と会話をする機会はより多くとれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2月に1回程度の交流会で地域の方との交流機会は得ている。	今後の地域交流の機会増に期待する。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在の入居者は皆おおむね満足していただいていると心得ている。	個人の満足度を他者が評価することは困難だが、住環境、人的環境ともに良いと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	